

令和2年6月24日
鉄道・運輸機構 東京支社

神奈川東部方面線新横浜トンネルに係る地盤変状検討委員会

〈令和2年6月12日に発生した横浜市道環状2号線の陥没について〉

第1回の議事内容

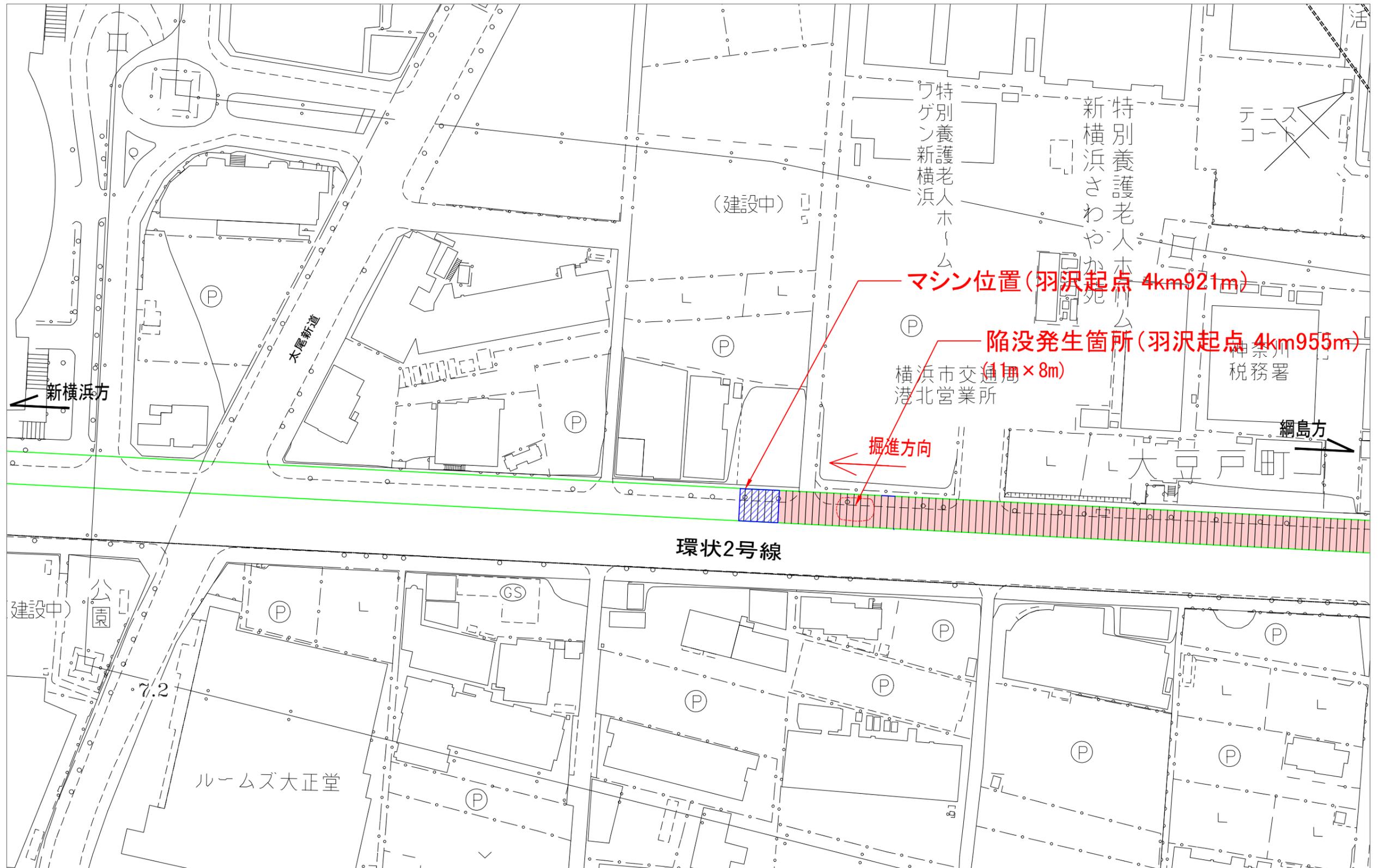
第1回委員会では、下記の1～5のとおり、陥没の経緯から応急復旧までの状況報告と、事前の地質調査およびシールドトンネルの掘進時のデータの説明を行いました。これらをもとに委員会では、地質、施工、環境など多角的に議論していただきました。今後は、今回の議論を踏まえ、必要な調査を実施するとともに、陥没の原因について検証していきます。さらに、今後の工事を安全に進めていくための対応についても検討していきます。

1. 工事概要と陥没の経緯
2. 応急対策の状況
3. 掘進データの整理
4. 掘進時の土砂の取込み量
5. 陥没箇所の考察

今後の予定

- ・考えられる陥没の原因、メカニズムについて
- ・工事を安全に進めていくための対応策について

陥没発生位置図



断面図

綱島方から新横浜方を望む
4km955m付近

注) 陥没範囲は推定である

